

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	帯広(8)施設最適化総合設計に係る技術協力業務
業 務 概 要	技術協力業務対象事業 帯広(8)施設総合設計(その1)等の施設最適化総合設計業務に対し、 施工者の観点から技術提案等を行うもの。 【帯広駐屯地】 建替施設(建替え後の施設) 隊舎(鉄筋コンクリート造 5階建 延べ面積約8,000 m²)ほか45 棟、 総延べ面積約46,010 m² 改修建物 隊舎(鉄筋コンクリート造 4階建 延べ面積約5,000 m²)ほか18 棟、 総延べ面積約18,880 m² 解体建物 隊舎(鉄筋コンクリート造 3階建 延べ面積約4,200 m²)ほか67 棟、 総延べ面積約44,140 m² 駐屯地内幹線ユーティリティ一式 【帯広訓練場】 建替施設(建替え後の施設) 隊舎(鉄筋コンクリート造 2階建 延べ面積約1,000 m²)ほか9棟、 総延べ面積約8,400 m² 改修建物 教場(鉄骨造 平屋建 延べ面積約600 m²)ほか5棟、 総延べ面積約970 m² 解体建物 隊舎(鉄筋コンクリート造 2階建 延べ面積約1,000 m²)ほか14 棟、 総延べ面積約7,380 m² 訓練場内幹線ユーティリティ一式
契約担当官等の 氏名並びにその 所属する部局の 名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 帯広防衛支局長 山口 淳一 北海道帯広市西6条南7丁目3番地 帯広地方合同庁舎
契 約 年 月 日	令和8年8月25日
契 約 業 者 名	帯広(8)施設最適化総合設計に係る技術協力業務対象工事 安藤・間・萩原建設工業・イチエイ山田建設・植村土建 建設共同企業体
契約業者の住所	北海道札幌市中央区南1条西8丁目1番1号
契 約 金 額	59,999,500円(税込)
予 定 価 格	59,999,500円(税込)
随意契約による こととした理由	本事案は、当該駐屯地において、複数の施設を集中的に実施していく大型事業であるとともに、その実施に当たっては、自衛隊の運用に支障をきたさない施工計画・仮設計画等が必要となるなど、発注者が最適な仕様を設定できない工事である。このような工事を着実に実施していくためには、仕様の前提となる条件を確定できない早期の段階から、仮設計画や施工を念頭に置いた技術的な知見・ノウハウを設計に反映することが必要である。このため、設計段階から施工者が設計に関与し、施工者の技術を設計に取り入れる技術提案・交渉方式(技術協力・施工タイプ)を採用し、技術提案を求めた。 選定に当たっては、「技術協力業務の実施に関する提案」、主たる事業課題に関する提案として「各種基地特性等の下、効率的に事業を進捗させるための施工計画における課題と対策に関する提案」及び「施工計画に関し、コスト抑制を意識した課題と対策に関する提案」並びに不測の事態の想定、対応力に関する提案として「建設工事を行うことで起こる事故の想定と対応策に関する提案」について技術提案を審査した結果、事業目的の達成のために総合的に最も評価の高い技術提案を行った「帯広(8)施設最適化総合設計に係る技術協力業務対象工事 安藤・間・萩原建設工業・イチエイ山田建設・植村土建 建設共同企業体」を優先交渉権者として選定したものである。

	本業務は、工事に先立ち技術提案を反映した設計を実施するための技術協力業務であり、技術提案者である「帯広(8)施設最適化総合設計に係る技術協力業務対象工事 安藤・間・萩原建設工業・イチエイ山田建設・植村土建 建設共同企業体」が、本業務を履行することが可能な唯一の者である。 よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定に基づき随意契約を行うものである。
業 務 場 所	北海道帯広市
業 種 区 分	建築関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和8年8月26日
履 行 期 間 (至)	令和12年3月31日
備 考	